

- 1、題目は、一行めの三ばんめか四ばんめのマスから書きましょう。
- 2、学校・学年・組・氏名は二行めに書きましょう。
- 3、文章は三行めから一字さげて書きはじめましょう。
- 4、文章の構想をしっかりと立ててから書きはじめましょう。各段落のはじめはかならず一字さげて書きはじめ、一つの段落がおわったら行を変えましょう。

() 月 日 曜日

頂上につく喜び

岳南中学校二年 岩川 流那

昨日まで楽しんでみていたこの日、部活を休みにしこの日を満きつしました。

なせ部活を休みにしてまでしたかというと家族みんなのつごうを合わせて出かけたからです。祖母もこの日のために介護を休みにしてくれました。この日を一番楽しんでみていたのはいとこはこの日屋久島で初めてたったたかろです。これまでの文で便

中学校

っているこの日は登山のことです。ヤクスギランドから太忠岳に登りました。最初の道は下りの階段で家族みんなの表情はスマイルでした。その登りの階段、下りの階段こうごにあり、結講登りが続いたため、表情が暗くなっています。いましました。途中でつり橋が見えた時は心がはずみました。そのつり橋で記念撮影をした後つり橋をシヤニズしてゆらして、母の妹もゆらしてシヤニプリよくがたかくなったように思いました。つり橋の後には、

No.

- 5、読みやすいように、と。とをしっかりとつけましょう。と。とは、それぞれ一字にかなぞえて、マスのなかの右上のほうにつけましょう。
- 6、人が話したところは、「」のなかに入れてください。「」は、それぞれ一字にかなぞえてマスのなかに入れてください。
- 7、漢字やかなづかいに気をつけ、特に「は」と「わ」、「へ」と「え」、「お」と「を」、しっかりと使いわけましょう。
- 8、書きおわったら、何回も読みなおし、まちがいをなおして、たりないことばをおぎない、むだなことばをけずりましょう。

(不許複製)



- 1、題目は、一行めの三ばんめか四ばんめのマスから書きましょう。
- 2、学校・学年・組・氏名は二行めに書きましょう。
- 3、文章は三行めから一字書いて書きはじめましょう。
- 4、文章の構想をしっかりと立ててから書きはじめましょう。各段落のはじめはかならず一字書いて書きはじめ、一つの段落が終わったら行を変えましょう。

（ ） 月 日 曜日

登	り	が	ほ	と	ん	ど	で	し	た	。	ど	も	こ	の	登	り	は	、	階
段	で	は	な	く	山	道	で	し	た	が	山	道	の	方	が	階	段	と	違
つ	て	歩	き	や	す	い	か	ら	い	い	と	思	い	ま	し	た	。	そ	の
か	ら	結	溝	登	り	が	続	き	、	私	は	ど	ん	ど	ん	登	る	の	が
ま	つ	く	な	り	速	さ	も	遅	く	な	り	、	最	初	の	休	け	い	場
所	に	予	定	ど	お	り	の	時	間	々	り	少	し	遅	れ	て	つ	き	ま
し	た	。	祖	母	は	私	達	が	つ	り	た	時	間	々	り	少	し	遅	延
れ	て	つ	き	ま	し	た	。	そ	の	山	か	ら	少	し	休	け	い	を	と
こ	こ	ど	も	記	念	撮	影	を	し	ま	し	た	。	こ	こ	ど	は	切	り
株	の	上	に	の	つ	た	家	族	の	笑	顔	の	写	真	が	と	れ	ま	し
中学校																			
た	。	い	と	こ	は	山	を	登	っ	て	い	る	時	は	き	つ	と	う	で
し	た	が	、	写	真	を	と	る	時	笑	顔	だ	っ	た	の	ど	良	か	っ
た	で	す	。	記	念	撮	影	が	終	わ	り	次	の	休	け	い	場	所	ま
ど	登	り	始	め	ま	し	た	。	し	か	し	、	ど	ん	ど	ん	パ	ー	ス
お	ち	初	め	、	足	も	痛	く	な	り	ま	し	た	。	途	中	に	水	く
み	場	が	あ	り	、	そ	こ	ど	飲	み	物	が	入	っ	て	い	な	い	人
は	水	を	く	み	、	私	は	祖	母	の	コ	ッ	プ	で	そ	の	水	を	飲
み	ま	し	た	。	つ	め	た	く	、	森	の	気	持	ち	を	下	さ	っ	た
よ	う	に	思	い	ま	し	た	。	そ	の	か	ら	山	を	道	を	進	ま	な
け	れ	ば	頂	上	ま	で	た	ど	り	つ	か	な	い	け	れ	ど	、	途	中

(不許複製)

- 5、読みやすいように、と。とをしつかりつけましょう。と。とは、それぞれ一字にかなで、マスのなかの右上のほうにつけましょう。
- 6、人が話したところは、「」のなかに入れましょう。「」は、それぞれ一字にかなで、マスのなかに入れましょう。
- 7、漢字やかなづかいに気をつけ、特に「は」と「わ」、「へ」と「え」、「お」と「を」とを、しっかりと使いわけましょう。
- 8、書き終わったら、何回も読みなおし、まちがいをなおして、たりないことばをおぎない、むだなことばをけずりましょう。



- 1、題目は、一行めの三ばんめか四ばんめのマスから書きましょう。
- 2、学校・学年・組・氏名は二行めに書きましょう。
- 3、文章は三行めから一字書いて書きはじめましょう。
- 4、文章の構想をしつかり立ててから書きはじめましょう。各段落のはじめはかならず一字書いて書きはじめ、一つの段落が終わったら行を変えましょう。

() 月 日 曜日

足がとまっ てしま いました。でも頑張って進
むと、次の休けい場所が見えました。すると
足が軽くなり走って休けい場所にいくと、す
ぐイスに座りました。最初の休けい場所より、
長く休けいし、次は大忠岳までいき、登り
ます。私はそれほきついと心の中で思いまし
た。それでも山を登り続けました。途中で小
さなカナブンで足をとめました。カナブンは
とてもきれいな緑でピカピカとしゃばば自
然だ、なと思 いました。その時、二人の人がお
りていくので左へ行きその人に道をゆずりま
した。また少し歩き下を見た先にシカが二匹
いました。た。ニ匹ともメスでかわいく、背中
模様が好きできれいだなと思 いました。シカ
にさよならをし、大忠岳を目指しました。私
と祖父は登りながらサルスベリのこと話を
ながら登りました。祖父は、サルスベリの木は
サルがすべるんだよ。だからすべってみたら
とじゅうたんもいい私は祖母と一緒に突いま
した。頂上まで四百メートルの所まで木や花

中学校

(不許複製)

- 5、読みやすいように、と。とをしつかりつけましょう。と。とは、それぞれ一字にぞえて、マスのなかの右上のほうにつけましょう。
- 6、人が話したところは、「」のなかに入れましょう。「」は、それぞれ一字にぞえてマスのなかに入れましょう。
- 7、漢字やかなづかいに気をつけ、特に「は」と「わ」、「へ」と「え」、「お」と「を」をしつかり使いわけましょう。
- 8、書きおわったら、何回も読みなおし、まちがいをなおして、たりないことばをおぎない、むだなことばをけずりましょう。



- 1、題目は、一行めの三ばんめか四ばんめのマスから書きましょう。
- 2、学校・学年・組・氏名は二行めに書きましょう。
- 3、文章は三行めから一字さげて書きはじめましょう。
- 4、文章の構想をしっかりと立ててから書きはじめましょう。各段落のはじめはかならず一字さげて書きはじめ、一つの段落がおわったら行を変えましょう。

() 月 日 曜日

の看板の名前を読みながら登りました。が、今はその木や花の名前はクリスマスツリーで使っているモミの木しか覚えていません。けれどその時は、私は読むのに夢中でつかれていなくて、登るときは読んでいた。なので登山するときは読んで登った方が、楽に登れるかもしれません。疲れたと思った時、もう頂上近くまで来ていました。それから走って頂上にいきました。4時間ぐらいで太忠岳頂上につくことができました。頂上では、記念撮影をして、その後昼食を食べました。その時、外国人が私達の横に座って何も食べ物も持っていないのか、たのいで家で作ったこうらせた。たのいカンをあげました。でも頂上は寒かった。で、寒くないかなと心配でした。後は登った道を降りました。いとこも屋久島のいい思いでがうくれたと思います。

登山は登った人が森の美しさを学べ、いい思い出をつくれると思います。安全な登山のヒントをこれからよろしくお願ひします。

中学校

(不許複製)

- 5、読みやすいように、と。とをしつかりつけましょう。と。とは、それぞれ一字にかぞえて、マスのなかの右上のほうにつけましょう。
- 6、人が話したところは、「」のなかに入れましょう。「」は、それぞれ一字にかぞえてマスのなかに入れましょう。
- 7、漢字やかなづかいに気をつけ、特に「は」と「わ」、「へ」と「え」、「お」と「を」とを、しっかりと使いわけましょう。
- 8、書きおわったら、何回も読みなおし、まちがいをなおして、たりないことばをおぎない、むだなことばをけずりましょう。

